

事業概要【やまなしスマート林業推進事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,038千円（10,724千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図るものである。</p> <p>・「スマート林業」は、林業経営体、木材加工事業者、流通事業者といった幅広い業界が関連する先進的な取り組みであり、県が主体となり、プラットフォームの整備、森林情報のクラウド化、デジタル森林情報の整備、新たな森林整備手法のモデル実施・普及により、スマート林業の初期段階の立ち上げを行う。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 ○本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図る。</p> <p>【主な経費】 ・県が保有する森林資源情報、市町村が保有する森林所有者情報、製材工場等が保有する木材需要情報を一元管理し、情報共有する基盤として県森林情報管理システムをクラウド化することで、森林の適正な経営管理、木材生産量の増大を図る。（委託料） 10,724千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①木材生産量（+44.00千 m^3 メートル） ②林業の新規就業者数（+6人） ③モデル地区における木材生産性（+1.20 m^3 /人日） ④県が主体となってモデル的にデジタル森林情報の整備を行う地区数（+4地区/年）	関連URL	山梨県公式ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/